

DXを支えるコンテナとマイクロ・サービス・アーキテクチャー入門（4120277）

コンテナとマイクロ・サービス・アーキテクチャーは共にデジタル・トランスフォーメーション(DX)の流れの中で頻繁に耳にする言葉です。

概要の理解が終わったところで以下のような疑問が生じます。

- ・「基幹系に必要なのか」「基幹系にメリットがあるのか」「担当システムに適用できるのか」「DXとどう関係があるのか」
- ・コンテナとマイクロ・サービス、APIの関係、全体像がよく分からない
- ・マイクロ・サービスの定義の仕方が分からない

この研修ではコンテナとマイクロサービスの初歩的な情報を共有し、上記の疑問への対応を考えます。

開催日時	2020年7月22日(水) 10:00-17:00
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 専門スキル
講師	天羽正道 氏 (フリーランスITアーキテクト) 元 日本アイ・ビー・エム株式会社 エクゼクティブアーキテクト。 チーフアーキテクトとして様々な環境でのビジネスアプリケーションの開発をリード、構想を支援。
参加費	J U A S 会員/ITC : 33,800円 一般 : 43,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (日本橋堀留町2丁目ビル2階)
対象	企業システムの担当としてコンテナとマイクロ・サービスについて定義・適用領域等について知りたい方 <前提>EB検索等でそれぞれの概要を読んだことがあること 初級
開催形式	講義、演習
定員	16名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

主な内容

0 はじめに

1 コンテナ入門

- ・コンテナとその価値
- ・適用ケース
 - ー環境増設
 - ースケールアウト
 - ークイックリリース
- ・課題と対応
 - ーコンテナの運用・管理
 - ーIAC(Infrastructure as a Code)との関係
 - ー適用対象選定

2 マイクロ・サービス入門

- ・マイクロ・サービスとその価値
 - ー論理的側面と物理的側面
 - ー機動性、俊敏性
 - ーコンテナとの関係
- ・課題と対応
 - ーバックエンド・フォー・フロントエンド
 - ートランザクション管理
 - ーマイクロ・サービスの切り出し方
 - ーJOINの問題

ー適用対象選定

・事例紹介～マイクロ・サービスの切り出し事例

3 コンテナ、マイクロ・サービスの周辺トピック

・コンテナとマイクロ・サービスの関係

・マイクロ・サービスとAPIの関係

・SOAとマイクロ・サービス・アーキテクチャーの関係

・マイクロ・サービス構築のメソドロジー

・デジタル・トランスフォーメーション(DX)における役割

4 おわりに